

事務事業評価表

○基礎情報

課名		青少年課		作成責任者	
施策目標	6	思いやりの心とたくましく生きぬく力を育てる	岡本 隆司		

常勤職員		常勤職員以外		
管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員
4 人	7 人	3 人	8 人	3 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
1,215 時間	14.5 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	3次実施計画の 現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			26年度	27年度	28年度	29年度
小学校ふれあいプラザ利用者数	29,475人	31,600人	29,475人	33,618人	36,355人	34,270人
小学校ふれあいプラザ開設校数	18校	19校	18校	18校	18校	18校
青少年会館の利用者数	162,184人	117,000人	162,184人	149,058人	153,116人	146,160人

(評価の見方)

- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z 未着手事業(中核市関連のものを含む)
- ・ 実績 なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実績のないものを含む)

2 事業実績(平成29年度)

No.	事務事業名 (第3次実施計画)	事務事業の目的・目指すべき成果・効果		Plan / Do							総合評価 (Check)			Action			
		何を・誰を (対象)	どうやって働िका け(手段・方法)	どうしたいか(生ま れる成果・効果)	事業 性質	従事 者数	会計 区分	H28予算(円) H28決算(円)	H29予算(円) H29決算(円)	事務事業の指標名	H29目標値	H29実績値	評価	取組 時間	見直し検 討可能性	業棚 選定	休・ 廃止
1	茅ヶ崎ゆかりの宇宙飛行士関連事業(ゆかりのまちサミット及び宇宙記念日関連事業)	次世代を担う子どもたち等、多くの市民に宇宙、科学に関する夢を育むため、興味をもつきっかけづくりを実施する。			政策	0.83	一般	407,000 179,501	1,000,000 658,940	ちがさき宇宙記念日及び関連事業の参加者数	400人	154人(このほか、ゆかりのまちの参加者103人)	A	減少			
2	(仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設整備事業	平成21年度に策定された海岸青少年会館・福祉会館複合施設再整備基本計画に基づき、茅ヶ崎公園内に世代間交流の場として新たな機能を備えた体験学習施設を建設する。			政策	1.71	一般	47,776,000 47,776,000	369,000,000 153,328,400	事業の進捗状況	体験学習施設建設工事着手	体験学習施設建設工事着手	S	増加	●		
3	海岸青少年会館移転事業	海岸青少年会館解体から複合施設会館までの間、代替え施設を運営し、青少年の居場所や体験学習の拠点とする。			政策	0.36	一般	6,847,000 6,846,252	6,847,000 6,846,252	会館仮設棟の賃貸借期間	12か月	12か月	S	変動なし			
4	子どもの家の管理業務委託	子どもの家を適切に管理するため、指定管理者へ管理業務を委託し、管理状況のモニタリング等を実施する。			政策	0.14	一般	21,850,000 21,382,000	22,577,000 22,486,000	子どもの家利用者数	33,280人	39,015人	S	減少			
5	野外研修施設等の検討	青少年の健全育成を図るための野外研修施設を検討する。			政策	0.01	一般	0 0	0 0	検討会議開催数	2回	1回	A	変動なし			
6	インターネット有害情報監視事業	青少年を取り巻くインターネットの有害情報を監視し、個人やクラス等が特定できる情報について、学校と連携しながら対応する。			定例 定型	0.60	一般	1,341,000 1,309,213	1,318,000 1,300,084	小・中学校に係るインターネット上の検案件数	2,500件/月	3,763件/月	S	変動なし	●		

7	ジュニアリーダー養成講座の開催	子ども会の活動等地域の行事で、主に小学生に対し、ゲームや野外活動の指導を行う青少年リーダーを育成する。	定例 定型	0.27	一般	103,000 71,943	99,000 98,105	ジュニアリーダー養成講座開催数	年間4回	年間6回 (参加者数:延べ26人)	S	変動なし			
8	はまかぜコンサート・海青祭の開催(海岸青少年会館)	青少年の活動発表の場や交流活動の場づくりをする。	定例 定型	0.49	一般	115,000 114,828	150,000 150,000	事業数	2事業	1事業 (参加者数:2,495人)	A	変動なし			
9	各種協議会と青少年対策に関する連絡調整	青少年健全育成団体の活動支援を行う。	定例 定型	0.27	一般	4,622,000 4,592,280	4,622,000 4,544,570	青少年指導員連絡協議会及び市子ども会連絡協議会の理事会の開催数	年間12回	年間12回	S	変動なし			
10	茅ヶ崎ゆかりの宇宙飛行士関連事業(宇宙展示コーナー関連事業)	青少年や市民が宇宙飛行士の活動や宇宙、科学に関する興味や夢を育み、青少年育成を推進する。	定例 定型	0.28	一般	4,486,000 4,319,515	4,579,000 4,412,679	1回あたりの宇宙教室参加者数	100人	97人	S	減少			
11	子どもの安全を守る都市の推進	子どもの安全を守るため、青少年育成団体等と啓発活動を行う。	定例 定型	0.16	一般	1,516,190 1,514,349	1,445,000 1,342,112	子どもの安全活動に係る支援学区数	19学区	19学区	S	変動なし			
12	子ども会育成事業	子ども会の活動を援助する育成者や子どもへの研修を実施し、子ども会活動を活性化させる。	定例 定型	0.27	一般	80,400 63,886	76,000 75,899	参加児童数	190人	152人	S	変動なし			
13	子ども大会の実施	学区ごとに異年齢間の交流及び地域による子どもたちの育成を目的に演奏会や運動指導等を実施する。	定例 定型	0.02	一般	1,520,000 1,520,000	1,520,000 1,520,000	19校学区の実施	19学区	19学区 (参加者数:12,813人)	S	変動なし			
14	自然体験教室の開催	子ども会の高学年の子どもたちを中心に様々な体験学習を通じて子ども会のリーダーとして養成する。	定例 定型	0.30	一般	1,159,295 873,897	448,000 447,751	参加児童の満足度	80%	90% (参加者数 1回目:29人 2回目:26人)	S	増加			
15	成人のつどい事業	自らの力で社会の一員として力強く生きぬいていこうとする新成人を祝福、激励する。	定例 定型	0.20	一般	1,381,780 1,072,591	3,150,000 3,149,911	新成人出席率	75%	68.4% (参加者数:1,629人)	S	減少			
16	青少年をとりまく環境調査及び浄化活動	社会環境実態調査及び有害図書の回収等、青少年をとりまく環境を調査し、浄化活動を実施する。	定例 定型	0.09	一般	0 0	0 0	有害図書の回収	年間12回	年間12回	S	変動なし			
17	青少年育成のつどいの開催	地域の青少年活動の活性化を目的として、中学生による発表、意見交換等を広く市民の皆様に見ていただく機会を設ける。	定例 定型	0.09	一般	365,000 353,590	406,000 310,000	青少年育成のつどいの実施時期	平成29年12月	平成30年1月 (128人)	S	変動なし			
18	青少年育成指導者研修	青少年指導者の資質向上を目的に、研修を実施する。	定例 定型	0.15	一般	45,000 30,000	45,000 45,000	研修実施回数	年間3回	年間3回	S	変動なし	●	●	
19	青少年指導員活動支援	教育委員会及び県から委嘱を受け、市の事業等への協力や地域の青少年健全育成事業に協力して下さる青少年指導員の活動を支援する。	定例 定型	0.30	一般	3,899,000 3,690,120	3,777,000 3,464,862	愛のパトロール実施地区数	19学区	19学区	S	変動なし			
20	青少年対策基本方針の進行管理	茅ヶ崎市青少年対策基本方針に基づき、各課で実施している事業の進捗管理を行う。	定例 定型	0.08	一般	0 0	0 0	協議会の開催回数	年間2回	年間2回	S	変動なし			

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check)／今後の展望(Action)	
<p>青少年課の平成29年度の事業数は「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き、32事業である。</p> <p>これらの事業の評価結果を見ると、「S」が29事業、「A」が3事業であり、ほとんどの事業で成果をあげることができた。</p> <p>職員の時間外勤務は、総時間で1,215時間、一人あたりに換算すると月平均14.5時間であり、前年度の総時間1,310時間、一人あたり月平均18.2時間と比べ、減少となっている。</p> <p>青少年育成の推進として、リーダー養成事業として実施している遊び体験教室や自然体験教室については、実施時期等の工夫により、受講した子ども達がジュニアリーダー養成講座の受講につながり、地域で活動する子どもたちのすそ野を広げる一助となった。</p> <p>小学校ふれあいプラザ事業では一部のプラザで開設日を増やすことができ、子どもたちが安全で安心して遊ぶことができる居場所づくりを着実に進めることができた。</p> <p>(仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設整備事業については、第2回市議会定例会において、工事請負契約の承認を受けた後、契約を締結し、7月に着工した。また、平成31年1月の開館に向け、これまで海岸青少年会館が実施してきた「青少年健全育成事業」を継続するだけでなく、子どもから高齢者まであらゆる世代の方々が交流できるよう事業を検討した。</p> <p>青少年会館の管理委託業務、その他の業務は目標どおり実施された。また、各種主催事業については、青少年事業、親子事業、こども事業等を実施し殆どの事業で定員数を超え青少年の居場所づくりの場が提供できた。最終的な延利用者数は少し減少したがこれは前年度事業を少し整理した結果であると推測される。(全77事業 延参加者数29,851人)</p> <p>海岸青少年会館の管理委託業務、その他の業務は目標どおり実施された。また、海岸青少年会館移転事業及び各種主催事業については、仮設棟での限られた条件の中で青少年の居場所づくりを工夫し、最終的な延利用者数は前年度より微増となった。開催場所としては、福祉会館、ハマミーナまなびプラザや海岸の近くという地域性を生かした事業を展開し、多様な事業を展開できた。(全52事業 延参加者数43,356人)</p>	

4 見直し検討可能性にチェックの入った事業のうち休・廃止検討事業

No.	事務事業名	休・廃止検討の理由
-	-	-
-	-	-

5 働きかたの見直しにおける取組結果(28-29年度の2か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

No.	事務事業名	取り組みの結果
21	青少年問題協議会の開催	担当者が試行錯誤して精査した事務手順をマニュアル化し、担当者の変更や異動時の対応がスムーズにできるようにした。
-	-	ファイルサーバの保存方法を体系化することにより、資料検索の時間の短縮につながった。